

ライオネル・ファイニンガー展、好評開催中です！ クリスタルの画家ファイニンガーにオモチャ作家としての側面があることは、10月20日にHF学芸員がこのブログでお話ししました。今日は、さらに別の興味深い側面についてご紹介しましょう。

ファイニンガーはなんと漫画家でもありました。1906年の一時期、アメリカの『シカゴ・サンデー・トリビューン』という新聞に、毎週日曜日「キンダー・キッズ」という漫画を描いていたのです。これは、キンダー家の3兄弟と1匹の愛犬がバスタブに乗ってニューヨークの港から航海の冒険に出る物語です。今回の展覧会では、この「キンダー・キッズ」から21話、さらにファイニンガーが同じ年に同じ新聞に描いていたもう1つの漫画「ウィー・ウィリー・ウィンキーの世界」から4話、計25話のファイニンガー漫画を展示しています。

それら25話の中で特に面白かったり重要な11話については、吹き出しの中だけ日本語に変えたものをパネルにして、オリジナル作品の横に添えてあります。これらの漫画、とっても楽しいですから、ぜひいらしてご覧になってください。



▲オリジナル作品（右）と日本語訳パネル（左）



▲「キンダー・キッズ」の1コマ（日本語訳パネル）

ファイニング展は来月23日までです。会期終盤は混雑が予想されますので、ゆったりしたご観覧をお望みの方は、どうぞお早目のご来館を！

(T0)